

学生カイゴチャレンジ奨励金 ～ 支えあいの町づくり人材育成事業

令和3年8月に実施した「介護事業所職員アンケート調査」及び「介護事業所意見交換」では、介護現場で抱える様々な課題が表面化。なかでも介護人材不足をはじめ、**介護人材の半数以上が50歳以上を占める実態**にあり、**介護人材の高齢化は深刻な課題**でもある。このことから**学生と介護を繋ぎ**、介護に触れて魅力を感じることでできる機会を創出し、**介護への理解の醸成と担い手づくり・介護現場の人材不足の改善**に向け、学生が町内介護事業所でアルバイトをした場合に時間給へ上乗せをする奨励金を交付。

利用者や家族から感謝されてやりがいを感じるが...

介護現場の精神的な負担が大きい...
とにかく人がいない、時間に余裕がない...

介護人材の確保が困難

収入が少ない... 仕事量が多い...
離職率が高い...

新卒者の採用機会がない

そもそも介護分野に対するイメージが悪い...



少子化で若手の確保が難しい

職業選択への情報発信の機会が少ない...
無資格だと仕事で苦労することが多い...
日々、仕事をこなすだけで精一杯...

介護現場人材の高齢化

健康で若手の人が増えると大変助かる

現時点で50代のベテランが退職したときの数年先がとても心配...

介護現場を理解してもらう機会や体験（レクリエーション介助など）を設けては...

アンケート等で介護現場の高齢化と若手人材不足の課題が表面化

介護に対するイメージが悪い

少子化で新卒者の確保が難しい

介護現場における介護人材の高齢化と若手人材の不足

一方で...

資格や専門性を生かせる

利用者等から感謝される

やりがいを感じることができる仕事



学生たちが**介護に触れ、介護の魅力を知る機会**が必要

やりがいのある仕事であることの**理解を深めてもらう**



アルバイトを通じて若手介護人材の醸成 = 学生カイゴチャレンジ



下記の学校に通う、**町内の介護事業所でアルバイトをする学生**の方が対象です。



大学・大学院
短期大学

高等専門学校

専修学校
(専門課程)

高等学校

時給割増分 = 奨励金 →

カイチャレ
Bigger Class
+ 100円

カイチャレ
Middle Class
+ 200円

※奨励金は50時間/月が上限

時給 a 円



学生カイゴチャレンジ奨励金は、**アルバイトをしながら介護の経験を積み、キャリアアップにも繋がる制度**。チャレンジスタートから**150時間のアルバイト経験を積むことで奨励金がアップ!!**



学生のメリット

- アルバイトをしながら介護のキャリアを積むことが出来る
- アルバイト賃金（時給）がアップ
- 介護のキャリアを進学や就職の選択肢に

介護現場のメリット

- アルバイトで10代と20代が重視するのは勤務期間や時給（時給割増分は町支援）
- アルバイトを通じて介護への理解度がアップ
- 介護現場人材の高齢化と人材不足の改善



学生カイゴチャレンジ奨励金の取組みで介護現場の課題を改善

“レッツ！カイチャレ！！”

